

3D都市モデル講座

厚木市では、令和5年度に市内全域の3D都市モデルを整備しました。3D都市モデルとは、建物・地形を三次元化し、都市空間そのものをデジタル上で再現したデータです。様々なデータと組み合わせることで、まちづくりを始め、防災、観光、シティプロモーション、交通、環境等、多様な分野での活用が可能であり、今後の活用に期待がされています。

3D都市モデルに少しでも興味を持った方、活用を検討している方、実際に使っている方、この機会に3D都市モデルについて学んでみませんか？

「Project PLATEAU（プラトー）」に取り組んでいる
国土交通省 都市局国際・デジタル政策課の職員が
3D都市モデルの概要から活用法まで講義します

日時

令和7年 **12月16日（火）** 午後3時から午後4時30分まで

場所

あつぎ市民交流プラザ（アミューあつぎ）6階 ルーム610

※オンライン参加も可能



参加費

無料

定員

50人（先着順）

参加対象者

市内大学等の教職員及び学生
市内企業にお勤めの方
市内在住の方

内容

- (1) 3D都市モデルの概要について
- (2) 3D都市モデルの活用方法について
- (3) 活用事例の紹介

東京工芸大学「3D都市モデルの経路探索への応用」

申し込み方法

Eメール又は電話で都市計画課（連絡先下記参照）までご連絡ください。

【記載事項】住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、学校名又は会社名、
参加方法（会場又はオンライン）、Eメールアドレス（オンラインの場合）

申し込み先

厚木市都市計画課 ☎046-225-2400 ✉4600@city.atsugi.kanagawa.jp

3D都市モデルとは

3D都市モデルとは、都市空間に存在する建物・地形の高さや形状などを三次元化し、都市空間そのものをデジタル上で再現したデータです。3D都市モデルのデータはGIS（地理空間情報システム）やゲームエンジン、CG、CAD、BIMソフトなどのソフトウェアで利用可能であり、様々なデータと組み合わせることで、まちづくりを始め、防災、防犯、観光、シティプロモーション、交通、環境、インフラ管理等、多様な分野でのシミュレーションや分析等の任意のサービスに展開することができます。

国土交通省では、2020年度から「Project PLATEAU（プラトー）」というプロジェクトを推進しています。プロジェクトでは、日本全国の3D都市モデルの整備を進めており、これを活用して、まちづくりに新たな価値をもたらす「まちづくりのデジタル・トランスフォーメーション（DX）」に取り組んでいます。

■国土交通省PLATEAU(プラトー) ホームページ

<https://www.mlit.go.jp/plateau/>

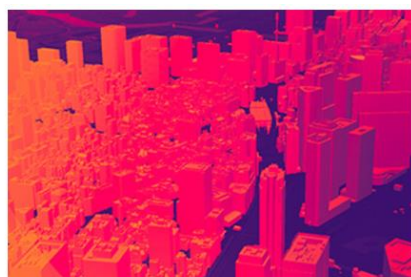
■ユースケース掲載ページ（PLATEAUホームページ）

<https://www.mlit.go.jp/plateau/use-case/>



ビジュアライズ（視認性）

都市空間を立体的に認識可能となり、説明力や説得力が向上



シミュレーション（再現性）

立体情報を持った都市空間をサイバー上に再現することで、幅広く、精密なシミュレーションが可能



インタラクティブ（双方向性）

フィジカル空間とサイバー空間が相互に情報を交換し作用し合うためのプラットフォームを提供

オープンデータとして公開中

厚木市で整備した3D都市モデルのデータ（建築モデル、道路モデル、災害リスクモデル等）は、国土交通省のサイト「Project PLATEAU」に二次利用・商用利用可能な形で、国際標準規格であるCityGMLのデータ形式でオープンデータ化され、どなたでも無償で自由にご利用いただけます。3D都市モデルを活用することで、さまざまな分野でのシミュレーションや分析等が可能となりますので、是非、ご活用ください。

■3D都市モデル（Project PLATEAU）ポータルサイトG空間情報センター

https://front.geospatial.jp/plateau_portal_site/